

觀

音

經

生活信条

いちにちいちど
一日一度は静かに坐すわって
からだ
身と呼吸と心こころを
ととの
調えましょう

にんげん
人間の尊とうとさにめざめ
じぶん
自分の生活せいかつも他人たにんの
せいかつ
生活も大切たいせつにしましょう

い
生かされている自分じぶんを感謝かんしゃし
ほうおん
報恩の行ぎようを
つ
積みましょう

信心のことば

わが身みをこのまま空くうなりと観かんじて　静しずかに
坐すわりましょう

衆生しゆじようは本来佛ほんらいほとけなりと信しんじて　拜おがんでゆき
ましょう

社会しゃかいを心こころの花園はなぞのと念ねんじて　和なごやかに生いき
ましょう

妙みよう法ほう蓮れん華げ經きよう觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ普ふ門もん品ぽん第だい二に十じゅう五ご

爾に時じ 無む尽じん意に菩ぼ薩さ 即そく從じゅう座ざ起き 偏へん袒だん右う肩けん

合が掌しょう向こう仏ぶつ 而に作さ是ぜ言ごん 世せ尊そん 觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ

以い何が因いん緣ねん 名み觀よう世かん音ぜ 仏ぶつ告ごう無む尽じん意に菩ぼ薩さ 善ぜん

男なん子し 若に有やく無む量りよう百ひやく千せん万まん億のく衆しゅう生じよう 受じゅ諸しよ苦く惱のう

聞もん是ぜ觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ 一い心っしん稱しょう名み 觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ

即時そくじ觀かん其ご音声おんじょう
皆得かいとく解脫げだつ

若有にやくう持じ是ぜ觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ名み者しや

設せつ入にゅう大だい火か

火か不ふ

能のう燒しょう
由ゆ是ぜ菩ぼ薩さ威い神じん力りき故こ

若にやく為い大だい水すい所しやう漂ひよう
称しょう其ご名み号ごう

即そく得とく淺せん处しよ

若にやく有う百ひやく千せん万まん億のく衆しゅう生じよう

為い求ぐ金こん

銀ごん

瑠る璃り

碑しゃ

磈こ

碼め碯のう

珊瑚さんご

琥こ珀はく

真しん珠じゅう等とう宝ほう

入にゅう於お大だい

海かい

仮使黒風けしこくふう

吹其船舫すいごせんぼう

飄墮羅刹鬼国ひようだらせつきこく

其中若有乃至一人称觀世音菩薩名者ごちゆうにやくうないしいちにんしょうかんぜおんぼさみょうしや

是ぜ

諸人等しよにんとう

皆得解脱羅刹之難かいとくげだつらせつしなん

以是因縁いぜいんねん

名みょう

觀世音かんぜおん

若復有人にやくぶうにん

臨当被害りんとうひがい

称觀世音菩薩名者しょうかんぜおんぼさみょうしや

彼所執刀杖ひしよしゆうとうじよう

尋段段壞じんだんだんえ

而得解脱にとくげだつ

若三千大千国土にやくさんぜんだいせんこくど 満中夜叉羅刹まんじゅうやしやらせつ 欲來惱人よくらいのうにん

聞其稱觀世音菩薩名者もんごしょうかんぜおんぼさみょうしや 是諸惡鬼ぜしよあくき 尚不能しやうふのう

以惡眼視之いあくげんじし 況復加害きやうぶかがい

設復有人せつぷうにん 若有罪にやくうざい 若無罪にやくむざい 杻械枷鎖ちゆうかいかさ 檢けん

繫其身げごしん 稱觀世音菩薩名者しょうかんぜおんぼさみょうしや 皆悉斷壞かいしつだんえ 即そく

得解脫とくげだつ 若三千大千国土にやくさんぜんだいせんこくど 満中怨賊まんちゅうおんぞく 有一ういち

商主しょうしゅ 將諸商人しょうしよしやうにん 齎持重宝さいじじゆうほう 經過險路きやうかけんろ 其ご

中一人ちゆういちにん 作是唱言さぜしやうごん 諸善男子しよぜんなんし 勿得恐怖もつとくくふ

汝等にょとう 应当おうとう 一心いつしん 称觀世音菩薩名号しんしやうかんぜおんぼさみやうごう 是菩薩ぜぼさ

能以無畏のういむい 施於衆生せおしゆじやう 汝等若称名者にょとうにやくしやうみやうしや 於此おし

怨賊おんぞく 当得解脱とうとくげだつ 衆商人聞しゆしやうにんもん 俱発声言ぐほつしやうごん 南な

無觀世音菩薩むかんぜおんぼさ 称其名故しやうごみやうこ 即得解脱そくとくげだつ

無^む尽^{じん}意^に

觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ摩^ま訶^か薩^さ

威^い神^{じん}之^し力^{りき}

巍^ぎ

巍^ぎ如^{によ}是^ぜ

若^{にやく}有^う衆^{しゆ}生^{じよう}

多^た於^お姪^{いん}欲^{よく}

常^{じよう}念^{ねん}恭^く敬^{ぎよう}觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ

便^{べん}得^{とく}離^り欲^{よく}

若^{にやく}多^た瞋^{しん}恚^に

常^{じよう}念^{ねん}恭^く敬^{ぎよう}觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ

便^{べん}得^{とく}離^り瞋^{しん}

若^{にやく}多^た愚^ぐ癡^ち

常^{じよう}念^{ねん}恭^く敬^{ぎよう}觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ

便^{べん}得^{とく}離^り癡^ち

無^む尽^{じん}意^に

觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ

有^う如^{によ}是^ぜ等^{とう}

大威神力多所饒益 是故衆生 常応心念

若有女人 設欲求男 礼拝供養観世音菩薩

薩 便生福德智慧之男 設欲求女 便生端

正有相之女 宿植徳本 衆人愛敬 無尽意

観世音菩薩 有如是力 若有衆生 恭敬礼

拝観世音菩薩 福不唐捐

是ぜ故衆生こしゅじょう

皆かい応受持おうじゆ觀世かんぜ音菩おんぼ薩さ名み号ようごう

無む尽じん

意に若やく有う人にん

受持じゆ六十二じろくじゅうに億恒おくごう河沙がしゃ菩ぼ薩さ名み字ようじ

復ぶ尽じん形ぎよう

供養くよう飲おん食じき

衣え服ふく

臥が具ぐ

医い藥やく

於お

汝にょ意いうん云が何

是ぜ善ぜん男なん子し

善ぜん女にょ人にん

功く德どく多た不ふ

無む尽じん意に言ごん

甚じん多た

世せ尊そん

仏ぶつ言ごん

若にやく復ぶ有う人にん

受持じゆ觀世かんぜ音菩おんぼ薩さ名み号ようごう

乃ない至し一いち時じ

礼らい拜はい供養くよう

是^ぜ二^に人^{にん}福^{ふく} 正^{しょう}等^{とう}無^む異^い
於^お百^{ひやく}千^{せん}万^{まん}億^{のつ}劫^{こう} 不^ふ可^か

窮^{ぐう}尽^{じん} 無^む尽^{じん}意^い 受^{じゅ}持^じ觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ名^な号^{ごう}
得^{とく}如^{によ}

是^ぜ無^む量^{りよう}無^む辺^{へん}福^{ふく}德^{とく}之^し利^り

無^む尽^{じん}意^い菩^ぼ薩^さ 白^{びやく}仏^{ぶつ}言^{ごん} 世^せ尊^{そん} 觀^{かん}世^ぜ音^{おん}菩^ぼ薩^さ

云^{うん}何^が遊^{ゆう}此^し娑^{しゃ}婆^ば世^せ界^{かい} 云^{うん}何^が而^に為^い衆^{しゆ}生^{じよう}說^{せつ}法^{ぽう} 方^{ほう}

便^{べん}之^し力^{りき} 其^ご事^じ云^{うん}何^が 仏^{ぶつ}告^{ごう}無^む尽^{じん}意^い菩^ぼ薩^さ 善^{ぜん}男^{なん}

子し 若にやくう有く国どしゅうじよう土じよう衆じよう生 応おう以い仏ぶつ身しん得とく度ど者しゃ 觀かん世ぜ

音おん菩ぼ薩さ 即そく現げん仏ぶつ身しん而に為い説せつ法ぽう 応おう以い辟びやく支し仏ぶつ身しん

得とく度ど者しゃ 即そく現げん辟びやく支し仏ぶつ身しん而に為い説せつ法ぽう 応おう以い声しやう聞もん

身しん得とく度ど者しゃ 即そく現げん声しやう聞もん身しん而に為い説せつ法ぽう 応おう以い梵ぼん王のう

身しん得とく度ど者しゃ 即そく現げん梵ぼん王のう身しん而に為い説せつ法ぽう 応おう以い帝たい釈しやく

身しん得とく度ど者しゃ 即そく現げん帝たい釈しやく身しん而に為い説せつ法ぽう 応おう以い自じ在ざい

てんしんとくどしや
天身得度者

そくげんじざいてんしんにいせつぼう
即現自在天身而為說法

おうい
応以

だいじざいてんしんとくどしや
大自在天身得度者

そくげんだいじざいてんしんにいせつ
即現大自在天身而為説

ほう
法 応以天大將軍身得度者

そくげんてんだいしょう
即現天大將

ぐんしんにいせつぼう
軍身而為說法

おういびしやもんしんとくどしや
応以毘沙門身得度者

そくげん
即現

びしやもんしんにいせつぼう
毘沙門身而為說法

おういしょうおうしんとくどしや
応以小王身得度者

そく
即

げんしょうおうしんにいせつぼう
現小王身而為說法

おういちようじゃしんとくどしや
応以長者身得度者

そく
即

現げん長ちやう者じゃ身しん而に為い説せつ法ぽう

応おう以い居こ士じ身しん得とく度ど者しや

即そく

現げん居こ士じ身しん而に為い説せつ法ぽう

応おう以い宰さい官かん身しん得とく度ど者しや

即そく

現げん宰さい官かん身しん而に為い説せつ法ぽう

應おう以い婆ば羅ら門もん身しん得とく度ど者しや

即そく現げん婆ば羅ら門もん身しん而に為い説せつ法ぽう

應おう以い比ひ丘く 比ひ丘く尼に

優う婆ば塞そく 優う婆ば夷い身しん得とく度ど者しや

即そく現げん比ひ丘く 比ひ丘く

尼に 優う婆ば塞そく 優う婆ば夷い身しん而に為い説せつ法ぽう

應おう以い長ちやう者じゃ

居士こじ

宰官さいかん

婆羅門ばらもん

婦女身得度者ぶによしんとくどしや

即現そくげん

婦女身而為說法ぶによしんにいせつぽう

応以童男おういどうなん

童女身得度者どうによしんとくどしや

即現童男そくげんどうなん

童女身而為說法どうによしんにいせつぽう

応以天龍おういてんりゆう

夜や

叉しや

乾闥婆けんたつば

阿脩羅あしゅら

迦樓羅かるら

緊那羅きんなら

摩ま

睺羅伽ごらか

人非人等身得度者にんびにんとうしんとくどしや

即皆現之而為そくかいげんしにい

說法せつぽう

應以執金剛神得度者おういしゅうこんごうじんとくどしや

即現執金剛神そくげんしゅうこんごうじん

而に為い說せつ法ぼう

無む尽じん意に

是ぜ觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ

成じ就よう如じゅう

是ぜ功く德どく

以い種しゅ種じゅ形ぎよう

遊ゆう諸しよ國こく土ど

度ど脫だつ衆しゅ生じよう

是ぜ故こ汝によ等とう

応おう當とう一いつ心しん供く養よう觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さ

是ぜ觀かん

世ぜ音おん菩ぼ薩さ摩ま訶か薩さ

於お怖ふ畏い急きゅう難なん之し中ちゆう

能のう施せ無む

畏い是ぜ故こ此し娑しゃ婆ば世せ界かい

皆かい号ごう之し

為い施せ無む畏い者しゃ

無む尽じん意に菩ぼ薩さ

白びやく仏ぶつ言ごん

世せ尊そん

我が今こん當とう供く養よう

觀世音菩薩 即解頸衆宝珠瓔珞伽直

百千兩金 而以与之作是言 仁者 受此法

施珍宝瓔珞 時觀世音菩薩 不肯受之 無

尽意 復白觀世音菩薩言 仁者 愍我等故

受此瓔珞 爾時 仏告觀世音菩薩 當愍此無

尽意菩薩 及四衆天龍 夜叉 乾闥婆 阿

脩羅 しゅうら

迦樓羅 かるら

緊那羅 きんなら

摩睺羅伽 まごらか

人非人 にんぴにん

等故 とうこ

受是瓔珞 じゅぜようらく

即時觀世音菩薩 そくじかんぜおんぼさ

愍諸四 みんしよし

衆 しゅう

及於天龍 ぎゅうおてんりゅう

人非人等 にんぴにんとう

受其瓔珞 じゅごようらく

分作 ぶんさ

二分 にぶん

一分奉釈迦牟尼仏 いちぶんぶしゃかむにぶつ

一分奉多宝仏塔 いちぶんぶたほうぶつとう

無尽意觀世音菩薩 むじんにかんぜおんぼさ

有如是自在神力 うによぜじざいじんりき

遊於 ゆうお

娑婆世界 しゃばせかい

弘 ぐ	汝 によ	具 ぐ	仏 ぶつ	世 せ	爾 に
誓 ぜい	聴 ちやう	足 そく	子 し	尊 そん	時 じ
深 じん	觀 かん	妙 みやう	何 が	妙 みやう	無 む
如 によ	音 のん	相 そう	因 いん	相 そう	尽 じん
海 かい	行 ぎやう	尊 そん	緣 ねん	具 ぐ	意 に
歷 りやく	善 ぜん	偈 げ	名 みやう	我 が	菩 ぼ
劫 こう	応 のう	答 とう	為 い	今 こん	薩 さ
不 ふ	諸 しよ	無 む	觀 かん	重 じゆう	以 い 偈 げ 問 もん 曰 わつ
思 し	方 ほう	尽 じん	世 ぜ	問 もん	
議 ぎ	所 しよ	意 に	音 おん	彼 び	

或 わく	念 ねん	假 け	心 しん	我 が	侍 じ
漂 ひょう	彼 び	使 し	念 ねん	為 い	多 た
流 りゅう	觀 かん	興 こう	不 ふ	汝 にょ	千 せん
巨 こ	音 のん	害 がい	空 くう	略 りやく	億 のく
海 かい	力 りき	意 い	過 か	說 せつ	仏 ぶつ

龍 りゅう	火 か	推 すい	能 のう	聞 もん	発 はつ
魚 ぎょ	坑 きやう	落 らく	滅 めつ	名 みやう	大 だい
諸 しよ	変 へん	大 だい	諸 しよ	及 ぎゆう	清 しやう
鬼 き	成 じやう	火 か	有 う	見 けん	淨 じやう
難 なん	池 ち	坑 きやう	苦 く	身 しん	願 がん

或^{わく} 念^{ねん} 或^{わく} 念^{ねん} 或^{わく} 念^{ねん}

値^ち 彼^び 被^ひ 彼^び 在^{ざい} 彼^び

怨^{おん} 觀^{かん} 惡^{あく} 觀^{かん} 須^{しゅ} 觀^{かん}

賊^{ぞく} 音^{おん} 人^{にん} 音^{おん} 弥^み 音^{おん}

繞^{りょう} 力^{りき} 逐^{ちく} 力^{りき} 峯^ぶ 力^{りき}

各^{かく} 不^ふ 墮^だ 如^{にょ} 為^い 波^は

執^{しゅう} 能^{のう} 落^{らく} 日^{にち} 人^{にん} 浪^{ろう}

刀^{とう} 損^{そん} 金^{こん} 虚^こ 所^{しょ} 不^ふ

加^か 一^{いち} 剛^{ごう} 空^{くう} 推^{すい} 能^{のう}

害^{がい} 毛^{もう} 山^{せん} 住^{じゅう} 墮^だ 没^{もつ}

呪^{しゅ} 念^{ねん} 或^{わく} 念^{ねん} 或^{わく} 念^{ねん}

詛^そ 彼^ぴ 囚^{しゅう} 彼^ぴ 遭^{そう} 彼^ぴ

諸^{しよ} 觀^{かん} 禁^{きん} 觀^{かん} 王^{おう} 觀^{かん}

毒^{どく} 音^{のん} 枷^か 音^{のん} 難^{なん} 音^{のん}

藥^{やく} 力^{りき} 鎖^さ 力^{りき} 苦^ぐ 力^{りき}

所^{しよ} 糶^{しゃく} 手^{しゅ} 刀^{とう} 臨^{りん} 咸^{げん}

欲^{よく} 然^{ねん} 足^{そく} 尋^{じん} 刑^{ぎょう} 即^{そく}

害^{がい} 得^{とく} 被^ひ 段^{だん} 欲^{よく} 起^き

身^{しん} 解^げ 杻^{ちゅう} 段^{だん} 寿^{じゅ} 慈^じ

者^{しゃ} 脱^{だつ} 械^{かい} 壞^え 終^{しゅう} 心^{しん}

蚺^{かん} 念^{ねん} 若^{にやく} 念^{ねん} 或^{わく} 念^{ねん}

蛇^{じゃ} 彼^び 悪^{あく} 彼^び 遇^{ぐう} 彼^び

及^{ぎゅう} 觀^{かん} 獸^{じゅう} 觀^{かん} 惡^{あく} 觀^{かん}

蝮^{ふつ} 音^{のん} 圀^い 音^{のん} 羅^ら 音^{のん}

蠍^{かつ} 力^{りき} 繞^{にょう} 力^{りき} 刹^{せつ} 力^{りき}

氣^け 疾^{しつ} 利^り 時^じ 毒^{どく} 還^{げん}

毒^{どく} 走^{そう} 牙^げ 悉^{しつ} 龍^{りゅう} 著^{じやく}

煙^{えん} 無^む 爪^{そう} 不^ふ 諸^{しよ} 於^お

火^か 辺^{へん} 可^か 敢^{かん} 鬼^き 本^{ほん}

燃^{ねん} 方^{ぼう} 怖^ふ 害^{がい} 等^{とう} 人^{にん}

具^ぐ 觀^{かん} 衆^{しゆ} 念^{ねん} 雲^{うん} 念^{ねん}

足^{そく} 音^{のん} 生^{じやう} 彼^び 雷^{らい} 彼^び

神^{じん} 妙^{みやう} 被^ひ 觀^{かん} 鼓^く 觀^{かん}

通^{つう} 智^ち 困^{こん} 音^{のん} 掣^{せい} 音^{のん}

力^{りき} 力^{りき} 厄^{やく} 力^{りき} 電^{でん} 力^{りき}

広^{こう} 能^{のう} 無^む 応^{おう} 降^{かう} 尋^{じん}

修^{しゅう} 救^ぐ 量^{りやう} 時^じ 雹^{ばく} 声^{じやう}

智^ち 世^せ 苦^く 得^{とく} 澍^{じゆ} 自^じ

方^{ほう} 間^{けん} 逼^{ひつ} 消^{しょう} 大^{だい} 回^え

便^{べん} 苦^く 身^{しん} 散^{さん} 雨^う 去^こ

無^む 悲^ひ 真^{しん} 生^{しょう} 種^{しゅ} 十^{じつ}

垢^く 觀^{かん} 觀^{かん} 老^{ろう} 種^{じゅ} 方^{ほう}

清^{しょう} 及^{ぎゅう} 清^{しょう} 病^{びょう} 諸^{しよ} 諸^{しよ}

淨^{じよう} 慈^じ 淨^{じよう} 死^し 惡^{あく} 国^{こく}

光^{こう} 觀^{かん} 觀^{かん} 苦^く 趣^{しゅ} 土^ど

慧^え 常^{じよう} 広^{こう} 以^い 地^じ 無^む

日^{にち} 願^{がん} 大^{だい} 漸^{ぜん} 獄^{ごく} 刹^{せつ}

破^は 常^{じよう} 智^ち 悉^{しつ} 鬼^き 不^ふ

諸^{しよ} 瞻^{せん} 慧^え 令^{りよう} 畜^{ちく} 現^{げん}

闇^{あん} 仰^{ごう} 觀^{かん} 滅^{めつ} 生^{しょう} 身^{しん}

妙^{みょう} 念^{ねん} 諍^{じょう} 澍^{じゅ} 悲^ひ 能^{のう}

音^{おん} 彼^び 訟^{しょう} 甘^{かん} 体^{たい} 伏^{ぶく}

觀^{かん} 觀^{かん} 經^{きょう} 露^ろ 戒^{かい} 災^{さい}

世^ぜ 音^{おん} 官^{かん} 法^{ほう} 雷^{らい} 風^{ふう}

音^{おん} 力^{りき} 処^{じょ} 雨^う 震^{しん} 火^か

梵^{ぼん} 衆^{しゅう} 怖^ふ 滅^{めつ} 慈^じ 普^ふ

音^{おん} 怨^{おん} 畏^い 除^{じょ} 意^い 明^{みょう}

海^{かい} 悉^{しつ} 軍^{ぐん} 煩^{ぼん} 妙^{みょう} 照^{しょう}

潮^{ちよう} 退^{たい} 陣^{じん} 惱^{のう} 大^{だい} 世^せ

音^{おん} 散^{さん} 中^{ちゅう} 燄^{えん} 雲^{うん} 間^{けん}

爾 に	福 ふく	具 ぐ	於 お	念 ねん	勝 しょう
時 じ	聚 じゅ	一 いつ	苦 く	念 ねん	彼 ひ
持 じ	海 かい	切 さい	悩 のう	勿 もつ	世 せ
地 じ	無 む	功 く	死 し	生 しょう	間 けん
菩 ぼ	量 りょう	徳 とく	厄 やく	疑 ぎ	音 のん
薩 さ					
即 そく	是 ぜ	慈 じ	能 のう	觀 かん	是 ぜ
從 じゅう	故 こ	眼 げん	為 い	世 ぜ	故 こ
座 ざ	応 おう	視 し	作 さ	音 おん	須 しゅ
起 き	頂 ちよう	衆 しゅ	依 え	淨 じよう	常 じよう
前 ぜん	礼 らい	生 じよう	怙 こ	聖 しょう	念 ねん
白 びやく					
仏 ぶつ					
言 ごん					

世尊せそん

若有衆生にやくうしゅじょう

聞是觀世音菩薩品もんぜかんぜおんぼさほん

自在じざい

之業しごう

普門示現ふもんじげん

神通力者じんづうりきしや

当知是人とうちぜにん

功く

徳不少どくふしょう

仏說是普門品時ぶつせつぜふもんぼんじ

衆中八万四千衆しゅうちゅうはちまんしせんしゅ

生じょう

皆發無等等阿耨多羅三藐三菩提心かいほつむとうどうあのくたらさんみゃくさんぼだいしん

平成二十八年五月一日 発行

観音経

発行所

名古屋市中区栄三丁目二十五の十八

臨済宗妙心寺派

白林寺内

名古屋禅センター

電話 〇五二二四一五二〇〇

千 四六〇一〇〇〇八

